

第41回九州少年柔道大会要項

- 1. 目的** 柔道の普及、発展と相互の親善を深め、次代を担う少年の健全な精神と体力の養成、礼儀正しく、心豊かな他人に対して思いやりのある少年の育成を目的とする。
- 2. 主催** 九州少年柔道場連盟
- 3. 共催** 佐賀県柔道場連盟・大分県少年柔道協会・北九州柔道場連盟・熊本県少年柔道場連盟・長崎県柔道場連盟・宮崎県柔道場連盟・筑後少年柔道場連盟・福岡県中部柔道場連盟・山口県柔道協会・鹿児島県柔道会・沖縄県柔道連盟
- 4. 後援** 九州柔道協会・公益財団法人 増田美術武道振興協会・医療法人 光仁会 光仁会病院 (株)JUDOGLI

5. 日時 令和5年7月1日(土)～7月2日(日)

(1) 7月1日(土) 団体予選・団体戦決勝トーナメント

- | | | | |
|---------|-------|----------|-------|
| ① 受付・開場 | 11:00 | ② 審判監督会議 | 12:00 |
| ③ 開会式 | 12:30 | ④ 試合開始 | 13:00 |

(2) 7月2日(日) 個人戦

- | | | | |
|--------|------|--------|------|
| ① 開場 | 8:00 | ② 審判会議 | 9:00 |
| ③ 試合開始 | 9:15 | | |

6. 会場 長崎県諫早市黒崎町 170-3 「小野体育館」 0957-21-5150

7. 実施種目及び参加基準

(1) 団体試合

- ①参加チームを2又は3ブロックに分け、予選として各ブロックのリーグ戦を行い、各ブロックの上位2チームによるトーナメント戦を行う。
- ②体重の重い順に大将から配列する。なお、補欠の起用後の配列についても同様にする。(男女混合可)
- ③リーグ戦の順位は次による。

ア リーグ戦におけるチーム対チームの勝敗は次による。

- (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- (イ) (ア) で同等の場合は、勝ち数の内容により勝ちとする。
- (ウ) (イ) で同等の場合は、引き分けとする。

イ リーグ戦の順位は、2勝・1勝1分・2分・2敗とする。

ウ (イ)で同等の場合はリーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。

エ (ウ)で勝ち数の同じ場合は、勝ち数の内容により上位とする。

オ (エ)で同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。

カ (オ)で同等の場合は、負け数の内容により上位とする。

キ (カ)で同等の場合は、抽選とする

④トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

- ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- イ (ア)で同等の場合は、勝ち数の内容により勝ちとする。
- ウ (イ)で同等の場合は、任意選手のよる代表選を行う。

⑤各学年下記のようにチームを編成する。

1年生及び2年生 5名によるチーム編成

3年生	8名	35kg級…4名	35kg超級…4名	4年生	8名	40kg級…4名	40kg超級…4名
5年生	8名	45kg級…4名	45kg超級…4名	6年生	8名	50kg級…4名	50kg超級…4名

⑥学年階級ごとに2名の補欠を認める。

⑦原則として、軽量級から重量級の出場は認めるが、重量級から軽量級の出場は認めない。

⑧選手変更は1回交代しても再度出場可能とする。

(2) 個人試合

①小学生学年別トーナメント戦とし必ず優劣をつける。

②各学年下記のように区分する。

小学1年生の部男女混合各県5名

小学2年生の部男女混合各県5名

小学3年35kg未満級(軽量)男女混合各県4名

小学3年35kg超級(重量)男女混合各県4名

小学4年男子-40kg級(軽量)各県4名

小学4年男子40kg超級(重量)各県4名

小学5年男子-45kg級(軽量)各県4名

小学5年男子45kg超級(重量)各県4名

小学6年男子-50kg級(軽量)各県4名

小学6年男子50kg超級(重量)各県4名

小学4年女子-35kg級(軽量)各県4名

小学4年女子35kg超級(重量)各県4名

小学5年女子-40kg級(軽量)各県4名

小学5年女子40kg超級(重量)各県4名

小学6年女子-45kg級(軽量)各県4名

小学6年女子45kg超級(重量)各県4名

8. 参加資格

(1) 各地区連盟に所属し、各道場代表者が推薦した者を地区代表として地区連盟会長が認めた者。

(2) スポーツ保険に加入している者。

※ 大会当日、時間の関係上体重測定は行わない。但し、審判員が階級に疑義を認める場合は、体重測定し出場の判断をする。

9. 審判規定

(1) 国際柔道連盟(IJF)試合審判規定及び最新の「少年大会申し合わせ事項」による。

(2) 勝敗の判定基準は、

ア) 団体試合・・・「技あり」以上。または、相手と「指導2」以上の差が付いた場合は優勢勝ちとする。

イ) 個人試合・・・「技あり」以上。または指導差2以上なければ僅差判定により必ず優劣を決する。

ウ) 代表戦・・・任意の選手で試合時間は2分、個人試合と同等に必ず優劣を決する。

(3) 運用上の申し合わせ事項は別に定める。※別紙参照

(4) 試合時間は、全学年正規の2分間とする。(5) 1年生にはヘッドキャップを着用させる。

10. 審判員 各県柔道場連盟(各県5名)及び長崎県柔道協会の審判員によって行う。

11. 組み合わせ 前大会を参考にし、主催者が厳正、公平に行う。

12. 表彰

団体戦表彰 各学年1位を10点、2位を5点、3位を3点とし、各学年総計で1位から3位まで表彰する。

優秀選手賞 団体戦出場選手の中より、各連盟が推薦した6名とする。

個人戦 学年階級ごとに、第1位～第3位(2名)までを表彰する。

敢闘賞 ベスト8まで賞状のみとする。

13. 事故取扱

(1) 本大会試合中に事故が発生した場合、大会本部は大会会場での応急手当のみを実施する。

その他の処置・手当て・治療等は各団体の責任において処置すること。

(2) 申し込みにあたり、各団体の責任者は、保護者の承諾書を了しておくこと。

14. 申込先 〒852-8155 長崎市旭町13-5 803号 九州少年柔道場連盟事務局 阿野朋弘

◎申し込み締め切り 令和5年5月31日必着